



● 第19回市民公開講座 骨髄移植を知ろう が開催されました

10月24日(土)、青森市のリンクモア平安閣市民ホールで開催され、県内各地から180名を超える参加がありました。

第1部では、青森県骨髄バンク登録協力会の前田基行さんから「骨髄バンクドナー募集の現状」などについて、県病8階西棟看護師の三浦聡子さんからは「骨髄提供時のドナーさんのスケジュール」などについて、詳しくお話がありました。



前田基行さん(左)



三浦聡子さん

第2部では、ドナー経験者の工藤千紘さん、骨髄移植体験者のまろまろ会員高坂行成さんから、それぞれの経験と思いをお話いただきました。高坂さんからは、移植前にドナーさんからいただいた手紙も紹介され、参加者から感動の声が寄せられました。

第1部と第2部の後半には、秋季講座の恒例となった青森山田中学高等学校吹奏楽部の「いのちのリレーコンサート」の演奏があり、会場はレベルの高い演奏に圧倒されました。

また、今回も第1部の開始に先がけて「血液疾患情報提供会」が開催され、白血病や骨髄異形成症候群など4つのブースに分かれて、専門医からの情報提供と参加者からの相談などが行われました。

全体を通じてのアンケートには、「今日は参加して良かった」、「自分の生きる意味について改めて思いを強めた」、「自分もボランティア活動をしようと思う」などの感想が寄せられました。



高坂行成さん



情報提供会の様子



「いのちのリレーコンサート」を聴いて

納谷むつみ

中学校と吹奏楽部でトランペットを吹いていました。その頃から山田中学高等学校の吹奏楽部はチョー名門でした。現役を離れて30年以上経ち、このたび初めてその演奏を聴くことができました。華やかで迫力のある演奏で、またトランペットを吹きたいな、いつか一緒に演奏してみたいな・・・と夢が膨らんでしまいました。

さて、今回の演奏曲の1つ、アニメソングの金字塔「宇宙戦艦ヤマト」は、当時から吹奏楽経験者にもお馴染みの曲でした。退院して、テレビから流れてきたときは迂闊にも泣くところでした。「宇宙戦艦ヤマト」は人類を守るため異星人と戦う話です。2番のサビが「誰かがそれをやらねばならぬ、期待の人が俺たちならば」と高らかに歌い上げられたその瞬間、命がけで治療してくれる先生方や看護師さん達の顔、辛い副作用にじっと耐えていた患者仲間の顔が浮かんで胸が詰まったのでした。

好きな音楽を聴くと、カチカチの緊張が温かな暖かなエネルギーに変わっているのが分かります。同じ空間でたくさんの仲間とそんな音楽を「聴く」と、より一層心とからだに「効く」ような気がします。次回の公開講座と演奏会を楽しみにしております。



バス遠足



10月3日(土)に秋のバス遠足が行われました。会場は昨年に引き続き弘前市相馬の「星と森の浪漫トピア」。

今年はいにくの天候で、朝方から雷鳴がとどろき稲妻が走り、強風と土砂降りに見舞われましたが、バスが会場に着く頃には奇跡的に雨が上がりました。(今年も健在！晴れ女伝説)

今年には県立中央病院血液内科の富士井先生、太田先生もご参加くださり、お話を伺いながら一緒にバーベキューを楽しむことができました。

しかし、さすがに帰宅予定時刻までは晴れ女の魔力は続かず、再びの強い雨に皆でバスに駆け込み帰路につきました。



♪♪♪ リレーエッセイ ♪♪♪

第13走者 青山春美さん(会員)

大家好！ 皆さん初めまして。まろまろ会員で骨髄ドナー登録協力会の活動しております青山春美です。

私は小さい頃、異文化に興味があり、TVでブルース・リーやジャッキー・チェンのアクションを見ては、少林寺で修行して見たい！(笑) 中国は憧れの地でした。将来…いつかきっと…中国に行くぞ！と心に誓い～上海の「ふく旦大学」(ふく→復のへんがない漢字)に留学できたのはかなり大人になってからです。

中国の学習方法で「相互学習」→フーシャンシュエシイと言うのがあります。お互いに語学を教え合うシステムです。私は学校の授業が終わった後に、ふく旦大学の生徒でもあり英語の教師をしていた王軍さんに中国語を教えてもらっていました。中国語で意思がうまく伝えられない時は英語で会話するのですが、英語の発音も指導して頂いたり、風邪を引いた時にはドラッグストアで薬を選んでくれたり。上海滞在中は本当にお世話になり、王軍先生との出会いがあり楽しい上海ライフとなりました。

今は骨髄異形成症候群という病気をきっかけに、新しい出会いがあり、支えられ、沢山のパワーを貰ったので、自分も何かをしたいと思いボランティア活動に参加しております。

まろまろの会の仲間、骨髄バンクの仲間、友達、家族、皆さんに非常感謝！

(Thank you very much)



● まろまろからのいろいろなお知らせ



再び、強い雨が



● 「青森県がん患者支え合いフォーラム」が開催されました

支え合いフォーラムは、がん患者やご家族が、がんを知り、がんと向き合い、がんを乗り越えていかれるように応援するため、青森県が主催し、がん患者会と、地域がん診療連携拠点病院とが、一緒に企画し、開催したものです。

今年は県内4か所で開催されましたが、まろまろは青森会場の企画に参画し出席したほか、むつ会場、弘前会場にも手分けしてブース展示を行いました。

○青森会場 11月23日(月・祝)14:00～16:00

場所:ウェディングプラザ アラスカ

内容:「がんのピアサポートに活用できるコミュニケーションのコツ」浜松オノロジーセンター 渡辺亨氏
「お肌・爪・頭髮のケア」美容師による実演など

○むつ会場 10月3日(土)13:00～16:15

場所:むつグリーンホテル

内容:「免疫力がつく食事」坂本謙二氏
盲目のシンガーソングライター 板橋かずゆき氏

○弘前会場 10月18日(土)13:30～16:00

場所:弘前市 コミュニケーションプラザ

内容:「自然食に関すること」森のイスキア 佐藤初女氏
「緩和ケアについて」ときわ会病院 馬場祥子氏
ギター弾き語り 小山内創祐氏



「青森県がん対策推進協議会」は青森県のがん対策を総合的に進めるために設置された協議会で、保健医療の従事者など20名以内で構成されています。

今年6月、がん医療利用者側の委員として当会の山本代表が任命を受け、11月に開催された平成27年度の第1回協議会に出席しました。

会議では、「第2期県がん対策推進計画」などについての説明がありましたが、本県の人口当たりのがん死亡者数が依然として全国最下位であることに関して、委員からは「死亡者が多い働き盛り世代に健康診断を受けさせることが大事」などの声が多く上がりました。



14年がん年齢調整死亡率
本県、全国最悪 98.0人
11年連続、改善率も最低



日本骨髄バンク

10月10日(土)、青森大学において、会員の高坂行成さんが公益財団法人日本骨髄バンク「語り部事業」の一環で講演を行いました。

「語り部事業」は、日本骨髄バンクが学校や地域のコミュニティーなどで、いのちを考える授業や講演、骨髄バンクドナーに関する説明会などを開催する際に、元患者や提供ドナーさんを「語り部」として派遣するものです。

当日は学園祭が行われており、まろまろの仲間も参加しての寸劇を盛り込みながら、学生の皆さんに「命の大切さ」を伝え、骨髄バンクのしくみなどを説明しました。

● まろまる新年会2016のお知らせ

◇とき

平成28年1月23日(土) 午後6時から

◇ところ

ホテルクラウンパレス青森
青森市本町5-5-4 TEL 017-775-1151

◇会費

3,800円



◇お申し込み

同封のハガキでお知らせください。
準備の都合上、1月14日までに投函してください。

お問い合わせは、090-1372-1610(レク担当:高坂)、
または090-9634-6703山本まで。



駐車場あります。
ノンアルコールのビールなどもあります。

骨髄バンク情報 (H27年11月末現在)

	全国	青森県
患者登録者数	1,445人	23人
ドナー登録者数	457,065人	7,424人
対象人口千人あたり	8.07人	13.08人(9位)

—資料：(財)骨髄移植推進財団—



● 国立がん研究センター 「患者・市民パネル」を募集中

国のがん対策について、「国立がん研究センターがん対策情報センター」への提言や、
周囲へ方への広報に協力する「患者・市民
パネル」メンバーを募集中です。

メールやインターネットを通じた活動が主
ですが、会議に出席することもあります。

公募の締切は平成28年1月24日(日)です。

(応募書類はこちらから)

[http://ganjoho.jp/public/news/2015/
panel_2016.html](http://ganjoho.jp/public/news/2015/panel_2016.html)

(お問い合わせ先)

国立がん研究センターがん対策情報センター
「患者・市民パネル事務局」

E-mail:Panel-oubo@ml.res.ncc/go.jp

FAX:03-3547-8577

電話:03-3542-2511 内線1615

◇ ご寄付いただきました

舘山 富代 様	金 10,000円
納谷 むつみ 様	金 5,000円
徳差 進 様	金 3,000円
公開講座出演者 様	金 20,000円

(県病久保部長、富士井先生、太田先生)

誠にありがとうございました。

血液疾患と歩む患者・家族の会 まろまる

<事務局連絡先> 青森県立中央病院 血液内科 外来
TEL 017-726-8141 FAX 017-726-8083
〒030-8553 青森県青森市東造道2-1-1

県病HP <http://www.aomori-kenbyo.jp/ketsueki>
ブログ <http://maromaroaomori.cocolog-nifty.com>
Twitter http://twitter.com/maromaro_aomori

